

(福) 日本聴導犬協会 2021 年(令和3年)度 事業報告書

2021 (令和 3) 年 4 月 1 日～2022 (令和 4) 年 3 月 31 日まで

	2021 年 事業報告書
I	社会福祉事業概要
	<p>報告1:お力添えの賜物です。 コロナ禍で希望者(6名)様が認定試験までに1年～2年待ちの状態でしたが、</p> <p>(1) リモートでの認定試験により、上記6名のうち愛知県の聴導犬希望2名様が認定試験合格されました。</p> <p>(2)あとの4名のうち、聴導犬2名様が訓練中。聴導犬1名と介助犬1名様は訓練を継続予定です</p> <p>報告2:新規事業:『親子で、家族で、聴導犬&介助犬訓練士体験』(ご家族4名様まで ご寄付5000円以上)</p> <p>■オリ&パラへの海外からの補助犬同伴者への受入れ。</p> <p>コロナ禍での国による入国規制などがあり、オリ&パラへの補助犬同伴希望者からの問い合わせはゼロでした。それ以外、個人的な観光や入国時での補助犬受入れ問い合わせは7件。うち厚労省の審査規定であるADI加盟団体訓練犬は1件。その1件には審査のための動画の送付などお願いしましたが、ご返信がなく、そのままになりました。あとの6件については、聴導犬&介助犬と名乗ってはいいても、ユーザー自身での訓練犬のため審査に至らず、ペット扱い(検疫)で入国をされるようご連絡をいたしました。</p> <p>I. 聴導犬・介助犬事業<添付資料1></p> <p>(1)2021年認定試験受験者は2名(予定は6名)様。12月19日をもってお二方とも合格されました。他の4名様(聴導犬3名(神奈川、東京)。介助犬1名(愛知))はコロナ禍での移動規制のため延期。</p> <p>(2)20年度は、「コロナによる孤立感や、他人に頼りにくい状況が生まれたこと」で、希望者がいったん増加。しかし、<u>長期に続くコロナ禍により21年度は問合せが減少</u>。対策として、スタッフが頻繁にSNS(Facebookやインスタなど)情報を流している。新規問合せは10名様。</p> <p>(3)コロナ自粛により、さらにSNSの充実を図っていく。</p> <p>(4)隔絶されたユーザーさんとのコミュニケーションには、リモート会議(手話通訳付き)などを行っている。</p> <p>※20年度同様に、聴覚障がいおよび肢体障がい関連団体でのデモがゼロとなり、会場での希望者のリクルーティングが難しい。例年、200回前後の講演会を実施し、年間70名前後の問い合わせなどを受けていたが、20年度21年度は、SNS関連での問合せを受け、そのうち10～15%の希望が訓練に入っている。</p> <p>II. インターネット関連 実施</p> <p>(1)セールスフォースは継続的な顧客リストの整理中(事務方の3名が担当)。</p> <p>(2)会員限定特別Facebookページを開設。投稿数のアップ等により、その充実を図っている。</p> <p>(3)21年6月よりクラウドファンディング(CF)を立上げ、<u>10,133,393円</u>のご支援をいただきました。さらに、<u>新規のご支援者様400人</u>ちかくとのご縁が作れました。※20年度のCFでは聴導</p>

犬・介助犬育成費用 9,131,300 円 のご支援を頂きました

(4) 20 年度に引続き、Zoom 講義を、帝京科学大学、仙台白百合大学、四条畷大学、京都さがの手話まつりで実施。

(5) Youtube でご支援者向けにしつけ動画を、配信中

(6) 手話 3 級および習得のため、毎週木曜日に、Zoom 手話講座を開設。

(7) ユーザー向け、手話付き ZOOM ミーティングを開催

■新たな SNS 活動報告

(1) 獣医様向けの DVD 発行:

『聴導犬&介助犬の訓練ノウハウから学ぶ愛犬のしつけ』2月1日に発売されました。https://medical-info.co.jp/.../vet_general/f-arima_01/

(2) オンラインチャリティーセミナー:『聴導犬の訓練から学ぶ』しつけの基本とトラブル解決法

<https://www.jdta.jp/seminar/seminar-1523>

一般社団法人日本ドッグトレーナー協会様の主催予定でしたが、未実施

(3) オンラインセミナー

クリステルヴィアンサンプル財団主催。4回の配信をしていただきました。

保護犬からの聴導犬・介助犬訓練を通じた「愛犬のしつけ」

No. 35 : <https://www.youtube.com/watch?v=UStoxePbk6M>

No. 36 <https://www.youtube.com/watch?v=sy-ep4lyx1s>

No. 37 <https://www.youtube.com/watch?v=Utg06FUdVJs>

Np. 38 <https://www.youtube.com/watch?v=aFLxIOooSQc>

Ⅲ. 本部と事務所 <添付資料 2 >

(1) 東京支部<2018年2月～>

・構成:施設長:MAYUMI(社会福祉法人施設長資格取得)。訓練業務委託:T

① 2021 年度の利用件数:50件 (2020 年度 50 件。2019 年度 156件) 内訳

・7 回:ユーザー (2020 年度は 17 回)

・0 回: 希望者面接 (2020 年度は 2 回)

・10 回: パピークラス (2020 年度は 7 回)

・1回: 講演会など (2020 年 7 回)

・15 回: 犬ケア (2020 年 17 回)

※東京ボランティアさんが獣医師に連れていってくださるので、回数が減りました。

(2) 関西事務所:支部候補地を探している。

・施設長:Y 様。訓練業務委託:O。

① 2021 年度の利用件数:12 回

内訳

・0 回:ユーザー訓練&アフターケア (2020 年 0)

・0 回:希望者面接 (2020 年度 0)

・2 回:パピークラス (2020 年度 1 回)

・3回:講演会など (2020 年度 2 回)

・6回:犬ケア (2020 年度年 7 回)

・1 回:取材

(3)本部: ((福)日本聴導犬協会「元気いっぱい聴導犬・介助犬訓練センター」)

・人員:

・訓練スタッフ:8名(含:本部5名、東京1名、関西1名、愛知1名)

・学院生: 3名

・犬ケア:2名

・事務スタッフ:4名

・施設整備:1名

① 利用件数:365日稼働のうち特別利用

・58回:利用者数:1157名

・49回(うち希望者面談4回含):ユーザーの訓練およびアフターケア)

・10回:パピークラス&Pro-Dog School

・31回←講演会(15)&相談室(12)&聴導犬クラブ(4)

・4校39名←職場体験&研修

・3回←調査・研究(2020年度14回)

・11件←取材

◆収支

独自クラウドでの募金(22年6月~9月まで)実施 10,133,393円のご支援をいただきました。

(1)収入:2021年度

総額:58,188,666円← 2020年度 52,307,412円

(内訳:社会福祉事業:50,320,747円(補助金3,000,000円含)←2020年度 45,035,449円。

公益事業 :6,043,919円(月次支援金+事業復活支援金等約167万円含む)
←4,622,270円(含む200万円持続化給付金)と 52,199,464

施設整備等: 収入:1,824,000円 ←2020年度 2,649,693円。

(2)支出:総額:58,830,678円 ← 2020年度 51,392,763円

社会福祉法人事業 48,431,163円 ← 2020年度 43,835,327円

公益事業 6,631,214円 ← 2020年度 6,922,438円

施設整備支出 3,768,301円 ← 2020年度 634,998円

◆候補犬・協会所属犬<添付資料3>

(1)協会犬34頭(2022年03月)

(2)新規候補犬5頭

(3)「聴導犬候補犬ネットワーク」を全国の動物愛護センターならびに保護団体と繁殖家から合計20カ所(特に沖縄ワンズ・パートナーからの協力を得ている)。

(4)新家族(補助犬にならない候補犬の里親)リストを作成

(5)繁殖:より良い候補犬繁殖は、英国聴導犬協会での研修を2019年の6月に実施済み。身体的&気質的にの良い子がいた場合に、繁殖を実施する予定

II 公益事業(普及&研修など)

(1)デモ&講演会:58回うち、4回がバスツアー(20年度13回)。

・大学&専校での講義:3回(20年度3回)

・講演会&講義&研修など:87(講演会57回研修など29回)(20年度94回。19年度291回)

	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験&研修:4校39名(20年度5校62名53日間) (2)施設利用数:1157名←(20年度779名) ※事業復活支援金の対象となり、21年度に100万円の補助を受けた。 (3)ご来所デモのための資料充実、魅力的なチャリティグッズの作成予定 (4)学院:2019年、2021年度の研修生の中から、1名様が日本聴導犬・介助犬訓練士学院12期、14期の入学。スタッフに採用。
III	社会福祉事業:聴導犬・介助犬認定
1	<ul style="list-style-type: none"> ・認定試験実施:2チーム合格 ・兵庫県依頼で審査・認定試験を担当
2	・他団体からの認定試験→なし
3	・日本聴導犬協会の認定試験は年2回(5月か10月と2月)の2度試実施したい
IV	社会福祉事業:候補犬の確保
4	「聴導犬候補犬ネットワーク」。全国20ヵ所(宮古島の動物保護団体が参加)。
5	繁殖計画 英国聴導犬協会に研修実施済み。優良な候補犬が見つかり次第開始。
6	新家族:6頭(まめ太、ゆみ、のぎ太、さくら子、れお姫、まさ)
7	関係諸動物愛護団体との相互リンク→未定
V	社会福祉事業:聴導犬・介助犬のユーザーリクルーティング
8	・未定:各地の聴力情報センターでの広報活動協力をお願い
9	継続中
10	<p>V:『全日本聴導犬ユーザーの会』との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナでまったくなし。
11	VI: インターネットの活用
12	<p>(1)現状:SNSでの展開:Facebookなどにスタッフ4名と学院生が参加しSNSを盛り上げます</p> <p>Facebook 日本聴導犬協会: 21523 いいね</p> <p>Facebook 有馬もと:トモダチ 1915</p> <p>Facebook 日本聴導犬・介助犬訓練士学院2026 いいね</p> <p>Facebook 補助犬&補助犬候補犬&キャリアチェンジ犬の幸せ: 518 いいね</p> <p>Facebook:補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)ユーザーの会」と応援団: 1126 メンバー</p> <p>インスタグラム hearingdogfordeaf399 フォロワー</p> <p>Twitter(福)日本聴導犬協会 1556 フォロワー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、月1回のLive発信を実施中
VI	助成金・補助金 (2020年度実績)
13	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県に2頭の聴導犬を貸与。補助金は150万円×2頭分=300万円。 ・事業復活支援金:100万円 ・クラウドファンディング <u>10,133,393円</u> ・赤い羽根募金:500,000円(複合機購入) <p>合計:14,633,393円</p>
VII	教育への寄与
14	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本聴導犬・介助犬訓練士学院 ・2021年13期生:3名入学➡うち1名スタッフ採用 ・2022年14期生:3名入学予定 ・2023年15期生 すでに2名希望

15	<p>・職場体験&研修生受入れ:4校 39名受入 (宮田中学校。神戸動物環境専門学校、国際動物専門学校、伊那養護学校)</p>
VIII	<p>パブリシティ</p>
16	<p>I : SNSを活用した (1) 資金調達:Goodmorning 日本聴導犬協会 10,133,393円(894名様)の他、波及効果として (2) 物品支援の増加 (3) 新規支援者の増加 (4) 取材の増加につながった</p> <p>II :実施済み⇒図書:企画を出版社に持ち込む III:実施済み⇒動画配信を行う予定 youtube や Zoom などを利用して発信</p>